

公民館報

小須戸町公民館 編集長 矢部藤三郎

考える農家 夢みる農家

改良普及事務所 松井技師

人はパンのみにて生きてはならない。それに対しては...

説 現今の思潮

朝日義博

戦後我々国民は大きな国民の目的を排除されて...

小須戸町 公民館

表彰に輝く

設優良公民館として十二月県教育委員会から表彰...



十二月十一日、五泉公民館に於て郡公民館協議会...

御挨拶

小須戸小学校長 本木七郎

病気の爲に休んでおりましたが、十二月から...

NHKから放送する 小須戸町合唱団

成人式と 弁論大会

一月の巡回スライド 幻灯

優良納税者表彰

五力年間

- 独立日本最初の希望に於て取り扱われ、又納税金...

家庭欄

すばらしい 大根の効能

昭和廿八年の楽しいお正月が来ました。

謹奉賀新年

- 優良納税者表彰者 土境住吉町 砂井久造...

- 小須戸町公民館 町長 長谷川鉄太郎...

全国優良公民館 小松市 視察記

中浦原公民館協議会 主催による視察一行十一名（小須戸公民館から四名参加）は去月廿二日立山風吹き荒ぶ富山縣を横断して、豊表で全国を名を馳せた小松市に到着しました。以下は同市の公民館訪問記。

●石川縣小松市公民館
昔の料亭を改造した建物です。洒落な感じのよい公民館でした。

●分館
分館十七分館あり、殆ど獨立建物を持ち、自主的に運営活動している。獨立探査制である。即ち地元負担で管理している。

●経費
廿七年度経費二百万円。大部分は本館でつかう。

●努力点
生活改善と青年学校と産業振興に寄与する事。

●視察
視察機三台を巡視して斯教育の振興を図る。

●弘報活動
公民館通信を出し、市紹介し、市御

●公民館のサービスセンターとして使命を果たす。金沢市の公民館を御紹介しよう。

●公民館は市のサービスセンターとして使命を果たす。金沢市の公民館を御紹介しよう。

家庭水道の水

「毎朝最初に出る水は、バケツに一杯程捨てるのが良い」と言います。水道水は、浄水場のろ過槽でろ過された後、配水管を通じて各家庭に送られます。この間に、配水管の内壁に付着した細菌や、配水管の継ぎ目から滲れ出す水が、水道水に混入することがあります。そのため、最初の水は捨てるのが良いとされています。

「毎朝最初に出る水は、バケツに一杯程捨てるのが良い」と言います。水道水は、浄水場のろ過槽でろ過された後、配水管を通じて各家庭に送られます。この間に、配水管の内壁に付着した細菌や、配水管の継ぎ目から滲れ出す水が、水道水に混入することがあります。そのため、最初の水は捨てるのが良いとされています。

「毎朝最初に出る水は、バケツに一杯程捨てるのが良い」と言います。水道水は、浄水場のろ過槽でろ過された後、配水管を通じて各家庭に送られます。この間に、配水管の内壁に付着した細菌や、配水管の継ぎ目から滲れ出す水が、水道水に混入することがあります。そのため、最初の水は捨てるのが良いとされています。

「毎朝最初に出る水は、バケツに一杯程捨てるのが良い」と言います。水道水は、浄水場のろ過槽でろ過された後、配水管を通じて各家庭に送られます。この間に、配水管の内壁に付着した細菌や、配水管の継ぎ目から滲れ出す水が、水道水に混入することがあります。そのため、最初の水は捨てるのが良いとされています。

「毎朝最初に出る水は、バケツに一杯程捨てるのが良い」と言います。水道水は、浄水場のろ過槽でろ過された後、配水管を通じて各家庭に送られます。この間に、配水管の内壁に付着した細菌や、配水管の継ぎ目から滲れ出す水が、水道水に混入することがあります。そのため、最初の水は捨てるのが良いとされています。

「毎朝最初に出る水は、バケツに一杯程捨てるのが良い」と言います。水道水は、浄水場のろ過槽でろ過された後、配水管を通じて各家庭に送られます。この間に、配水管の内壁に付着した細菌や、配水管の継ぎ目から滲れ出す水が、水道水に混入することがあります。そのため、最初の水は捨てるのが良いとされています。

催し物予告

●加賀多大会
二月五日 於公民館
●町民かくし芸大会
二月十日 小須戸校
●町民囲碁将棋大会
二月廿一日 於公民館
●中浦原青年
二月廿一日 於公民館
●産業振興大会
二月廿一日 於公民館
●自治振興青年会
二月廿一日 於公民館

●加賀多大会
二月五日 於公民館
●町民かくし芸大会
二月十日 小須戸校
●町民囲碁将棋大会
二月廿一日 於公民館
●中浦原青年
二月廿一日 於公民館
●産業振興大会
二月廿一日 於公民館
●自治振興青年会
二月廿一日 於公民館

●加賀多大会
二月五日 於公民館
●町民かくし芸大会
二月十日 小須戸校
●町民囲碁将棋大会
二月廿一日 於公民館
●中浦原青年
二月廿一日 於公民館
●産業振興大会
二月廿一日 於公民館
●自治振興青年会
二月廿一日 於公民館

●加賀多大会
二月五日 於公民館
●町民かくし芸大会
二月十日 小須戸校
●町民囲碁将棋大会
二月廿一日 於公民館
●中浦原青年
二月廿一日 於公民館
●産業振興大会
二月廿一日 於公民館
●自治振興青年会
二月廿一日 於公民館

●加賀多大会
二月五日 於公民館
●町民かくし芸大会
二月十日 小須戸校
●町民囲碁将棋大会
二月廿一日 於公民館
●中浦原青年
二月廿一日 於公民館
●産業振興大会
二月廿一日 於公民館
●自治振興青年会
二月廿一日 於公民館

●加賀多大会
二月五日 於公民館
●町民かくし芸大会
二月十日 小須戸校
●町民囲碁将棋大会
二月廿一日 於公民館
●中浦原青年
二月廿一日 於公民館
●産業振興大会
二月廿一日 於公民館
●自治振興青年会
二月廿一日 於公民館

小須戸風土記

小須戸寺院の移り変り (柏 大治)

大字小須戸には、現在それ以来支証寺は庄屋に寺院が四か所あり、曹洞宗大谷派の了尊寺、曹洞宗の茂林寺、大谷派正徳寺、眞言宗長海寺である。庄屋と仲直りになり、色々移り変りがある。

忘年句会

十二月廿六日夜（於公民館）

花ハツ手残して庭木固いけり
父と呼ぶほどに成る子に暮るる年
クリスマスツリーに飾られて暗のぼる
集えども話題をばしきクリスマス
降誕祭にききの子を産む身
クリスマス前夜の雪の降りしゆく
若き血の波がたつたに年暮れゆく
三十三才閉居の我に不審ありや
三十三才納屋すれんに水走る
三十三才小敷を抜けて石の上
三年の暮ごり迫りて貧あからさま
きめてある松切り惜しむ年の暮
一位 山葵 二位 漢灯 三位 喜代治

忘年句会

十二月廿六日夜（於公民館）

花ハツ手残して庭木固いけり
父と呼ぶほどに成る子に暮るる年
クリスマスツリーに飾られて暗のぼる
集えども話題をばしきクリスマス
降誕祭にききの子を産む身
クリスマス前夜の雪の降りしゆく
若き血の波がたつたに年暮れゆく
三十三才閉居の我に不審ありや
三十三才納屋すれんに水走る
三十三才小敷を抜けて石の上
三年の暮ごり迫りて貧あからさま
きめてある松切り惜しむ年の暮
一位 山葵 二位 漢灯 三位 喜代治

忘年句会

十二月廿六日夜（於公民館）

花ハツ手残して庭木固いけり
父と呼ぶほどに成る子に暮るる年
クリスマスツリーに飾られて暗のぼる
集えども話題をばしきクリスマス
降誕祭にききの子を産む身
クリスマス前夜の雪の降りしゆく
若き血の波がたつたに年暮れゆく
三十三才閉居の我に不審ありや
三十三才納屋すれんに水走る
三十三才小敷を抜けて石の上
三年の暮ごり迫りて貧あからさま
きめてある松切り惜しむ年の暮
一位 山葵 二位 漢灯 三位 喜代治

忘年句会

十二月廿六日夜（於公民館）

花ハツ手残して庭木固いけり
父と呼ぶほどに成る子に暮るる年
クリスマスツリーに飾られて暗のぼる
集えども話題をばしきクリスマス
降誕祭にききの子を産む身
クリスマス前夜の雪の降りしゆく
若き血の波がたつたに年暮れゆく
三十三才閉居の我に不審ありや
三十三才納屋すれんに水走る
三十三才小敷を抜けて石の上
三年の暮ごり迫りて貧あからさま
きめてある松切り惜しむ年の暮
一位 山葵 二位 漢灯 三位 喜代治

忘年句会

十二月廿六日夜（於公民館）

花ハツ手残して庭木固いけり
父と呼ぶほどに成る子に暮るる年
クリスマスツリーに飾られて暗のぼる
集えども話題をばしきクリスマス
降誕祭にききの子を産む身
クリスマス前夜の雪の降りしゆく
若き血の波がたつたに年暮れゆく
三十三才閉居の我に不審ありや
三十三才納屋すれんに水走る
三十三才小敷を抜けて石の上
三年の暮ごり迫りて貧あからさま
きめてある松切り惜しむ年の暮
一位 山葵 二位 漢灯 三位 喜代治

忘年句会

十二月廿六日夜（於公民館）

花ハツ手残して庭木固いけり
父と呼ぶほどに成る子に暮るる年
クリスマスツリーに飾られて暗のぼる
集えども話題をばしきクリスマス
降誕祭にききの子を産む身
クリスマス前夜の雪の降りしゆく
若き血の波がたつたに年暮れゆく
三十三才閉居の我に不審ありや
三十三才納屋すれんに水走る
三十三才小敷を抜けて石の上
三年の暮ごり迫りて貧あからさま
きめてある松切り惜しむ年の暮
一位 山葵 二位 漢灯 三位 喜代治

各種靴 品質保証

秋山のゴム

特約店 横川の下駄屋

青任靴

名前のように絶対買付
各種色・型・いろいろ取揃え

新町 中村洋品店

津新新須戸月録

川関津彦頭湯倉

死

小須戸

加藤友子
平山千加子
内山麻里子
田中麻里子
五十嵐芳昭
高山美智子
阿部敏子
平間敏子

出生・死亡

十二月廿八日より
十二月廿三日まで

小須戸 出生
加藤友子
平山千加子
内山麻里子
田中麻里子
五十嵐芳昭
高山美智子
阿部敏子
平間敏子

忘年句会

十二月廿六日夜（於公民館）

花ハツ手残して庭木固いけり
父と呼ぶほどに成る子に暮るる年
クリスマスツリーに飾られて暗のぼる
集えども話題をばしきクリスマス
降誕祭にききの子を産む身
クリスマス前夜の雪の降りしゆく
若き血の波がたつたに年暮れゆく
三十三才閉居の我に不審ありや
三十三才納屋すれんに水走る
三十三才小敷を抜けて石の上
三年の暮ごり迫りて貧あからさま
きめてある松切り惜しむ年の暮
一位 山葵 二位 漢灯 三位 喜代治

濱屋

ナラシヨナル
シオ品電具
化粧食料

二番町 電話112

坂井輪店

無期限保証付
備アリング防水装置

電話 170